

令和5年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一般選抜】

【外国人留学生特別選抜】

人文社会学専攻
社会学コース

〔専門科目〕

試験日：令和4年9月1日（木）

注 意

1. 解答は、問1・問2・問3のそれぞれに対応した解答用紙（3枚同封）に記入すること。なお、それぞれの解答用紙に受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 4ページ（第1ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問1 <合理性>と<自由>の関係について書かれた次の文章を読み、下記の3つの問いに答えなさい。解答に際しては、解答用紙にa)、b)、c)を明記すること。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：Bauman, Z. and T. May, 2001, *Thinking Sociologically* 2nd ed., Blackwell. (=Z. バウマン、T. メイ (奥井智之訳) 『社会学の考え方 (第2版)』筑摩書房) 備考：訳文は必ずし邦訳書のとおりではない。また、文中の [] は作問にあたって補った箇所である。

- a) 文章の一部を原著どおりの英文表記にしたものが下線部①である。これを日本語に訳しなさい。
- b) ②の「緊張関係」について説明しなさい。(200字程度)
- c) この文章に登場する M.ヴェーバー、E.デュルケーム、R.パークのうちから一人を選び、その社会学的視座や寄与について知るところを簡略に述べなさい。(200字程度)

問2 下の図は、60歳以上の高齢者男女における「家族以外の人で相談し合ったり、世話をし合ったりする親しい友人」の有無を4か国で比較したものである。以下のa)、b)に答えなさい。

- a) 図から読み取れる日本の特徴を2点挙げ、それらの社会学的背景について論じなさい。
- b) a)をふまえ、日本の高齢者におけるウェルビーイング (well-being) の課題と解決策について自由に論じなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 「家族以外の人で相談し合ったり、世話をし合ったりする親しい友人の有無」に関する男女別4か国比較

注：質問文と選択肢は以下のとおりである。

「あなたは、家族以外の人で相談し合ったり、世話をし合ったりする親しい友人がいますか。(○は1つだけ)」

- 1 同性の友人がいる
- 2 異性の友人がいる
- 3 同性・異性の両方の友人がいる
- 4 いずれもない
- 5 わからない

図では、1～3を積み上げ棒グラフで、4を折れ線グラフで示し、5は記載していない。

資料：内閣府『第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査』より作成
(調査実施時期は2020年12月～2021年1月、調査対象者は施設入所者を除く各国在住の60歳以上の男女個人)

問3 次の設問のなかから2つを選び解答しなさい。解答用紙にどれを選んだか明記すること。

- a) 国際移動あるいは国内移動とジェンダーとの関連について具体的な例を挙げて論じなさい。
- b) もしあなたが「観光経験としての土産物」というテーマで研究するならば、どのような研究計画になるか。対象、分析の観点、研究方法などについて、できるだけ具体的に述べなさい。
- c) 教育やキャリアの過程におけるトラッキング (tracking) について、1)それがどのような概念であるかを述べた上で、2)「ジェンダー・トラック」に関して具体的な例を挙げつつ論じなさい。
- d) 社会学と文化人類学というふたつの学問分野の共通点および相違点について、諸文献にもふれながらあなたなりの考えを述べよ。
- e) 文化社会学とはどのような研究領域か。既存の諸研究にも言及しながらあなたなりの考えを述べよ。